

### 3. 新河岸川流域水循環マスタープランの計画理念・基本方針

#### 3.1 計画理念

新河岸川流域水循環マスタープランでは、目指すべき流域像として「人と水とみどりがつながりあう魅力ある流域づくり」を計画理念とします。これをもとに基本方針を掲げ、将来を見据えた対策を展開していくことにより、着実に望ましい流域づくりを推進していくことができると考えます。

## **新河岸川流域水循環マスタープランの計画理念** **「人と水とみどりがつながりあう魅力ある流域づくり」**

流域の水循環系の健全化を目指し、水とみどりが豊かな流域づくりを目指します。また、人々が理解・協力しあい、やりがいをもって水循環系再生の取り組みを行い、新河岸川流域を訪れたり、住みたくくなるような魅力ある流域づくりを目指します。魅力ある流域となれば、さらに人々の水循環に対する興味や取り組みへの理解が高まり、一連の取り組みがつながり続け、将来にも豊かな流域を引き継ぐことができます。

### 3.2 基本方針

計画理念である「人と水とみどりがつながりあう魅力ある流域づくり」を実現するため、新河岸川流域全体で取り組む共通課題がそれぞれ解決された状態を新河岸川流域水循環マスタープランの4つの基本方針として設定します（図 3-1 参照）。

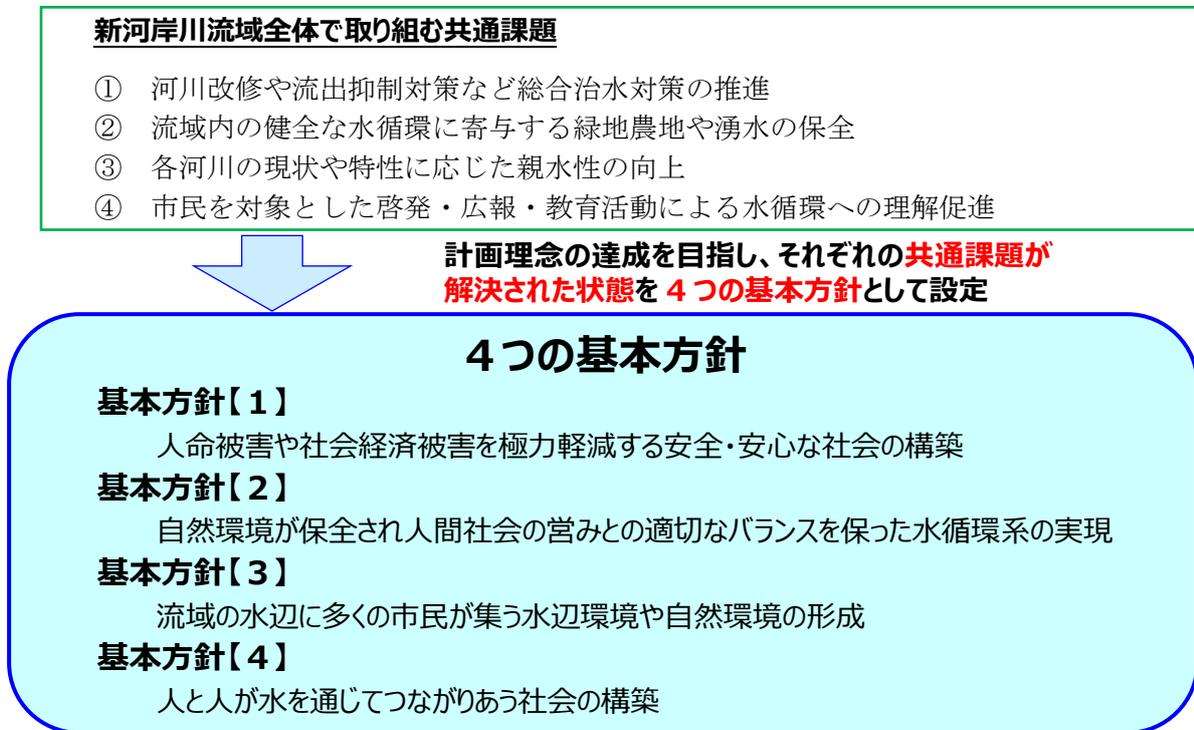


図 3-1 新河岸川流域水循環マスタープランの基本方針

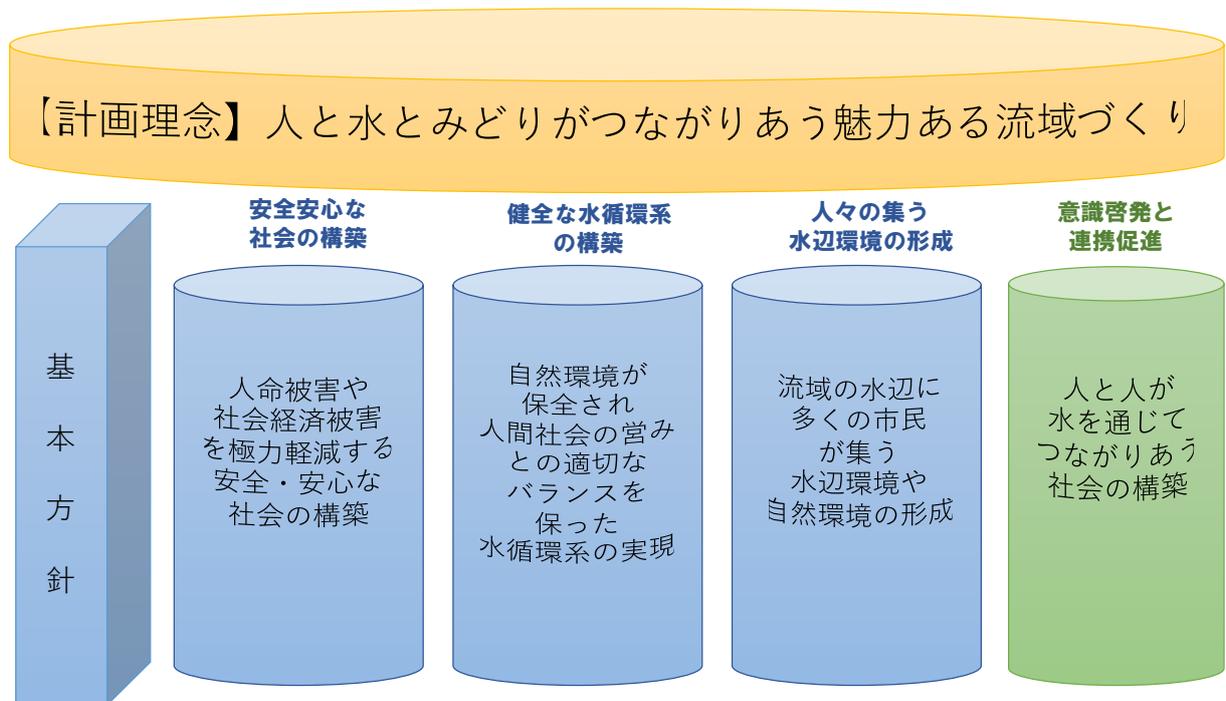


図 3-2 新河岸川流域水循環マスタープランの計画理念と基本方針

計画理念に示す「望ましい流域像」を実現するためのイメージを図 3-3 に示します。新河岸川流域水循環マスタープランでは、取り組み方策と推進方策を並行して実施していくことで4つの基本方針の達成を目指し、計画理念に掲げる流域の実現を図っていきます。

- 取り組み方策：計画目標達成に向け具体的に取り組む方策
- 推進方策：取り組み方策を推し進める上で必要となる連携・協働や学習・教育といったソフト的な方策

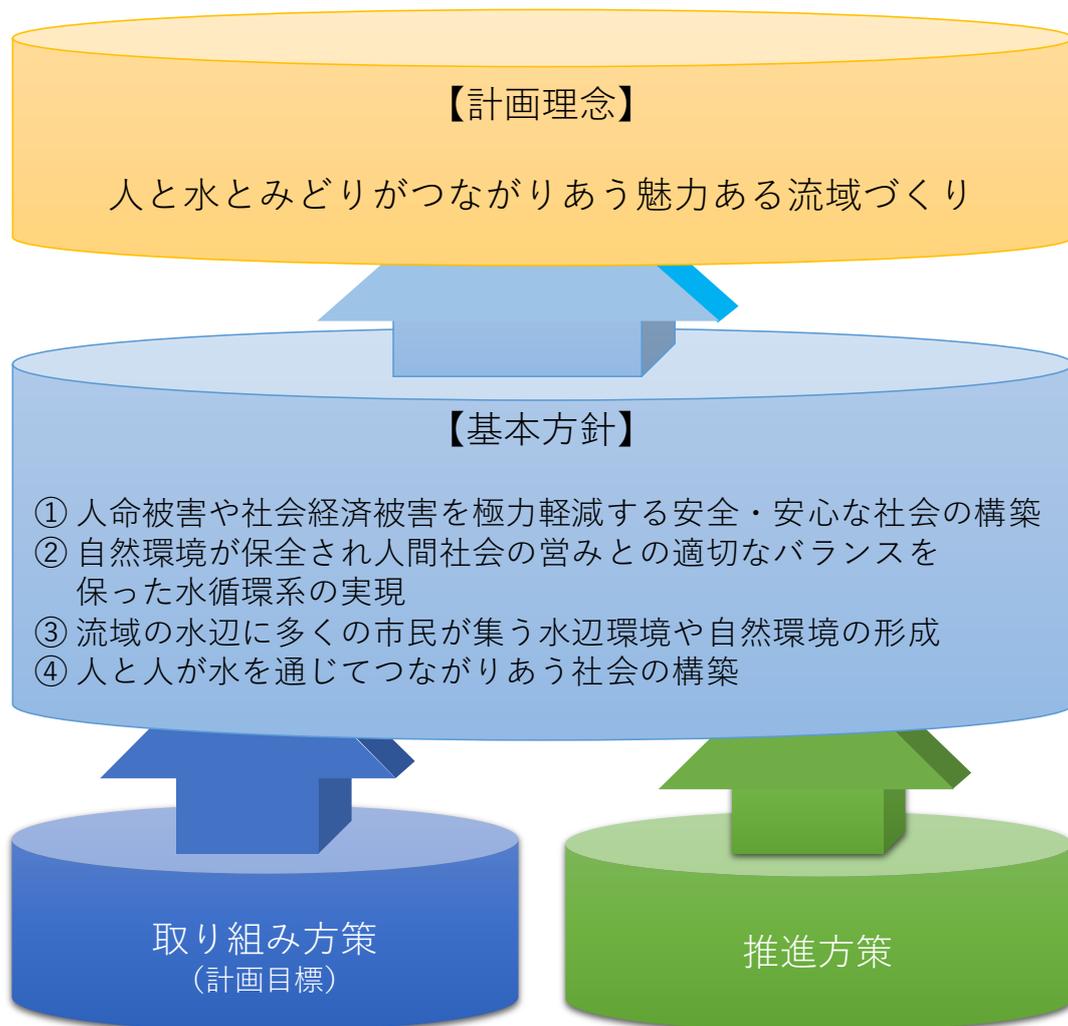


図 3-3 「望ましい流域像」とその実現に向けたイメージ